



運営委員会「言葉の授業」

突然ですが、児童会の前期運営委員会では1学期に「あいさつ運動」にも取り組みましたが、「高浜小のみんなを元気にするためには、あいさつだけでなく他にどんなことを意識すればいいのか？」と考えたそうです。

そこで考え出したのが、“言葉の力”。相手のことを考えて言葉を選ぶことが、よりよい仲間づくりにつながり、みんなが元気になれる！

こうして11月8日(金)、運営委員会が全校集会『言葉の授業』を行いました。日常での場面を寸劇で演じ、そこでの対応についてよりよい言葉がけができないか、対話を通して考えるのです。縦割り班や全校での意見交流を通して、それぞれの感じ方や考え方を深めるきっかけとするものでした。

この時の様子は、11月11日(part2)の高浜小ブログでも紹介しましたが、子どもたちみんなが自分事として真剣に考え、その考えを発表していました。複数回発表する子が何人もいましたし、全校児童の前で臆することなく自分の意見や考えを発表する姿、それを受け入れて温かい拍手で受け入れる聴衆としての子どもたち。その姿は、頼もしくたくましく、そしてとても温かく感じられました。最後には運営委員会の願いとして、みんながふわふわ言葉を使ったり、相手のことを思いやって話したりできるようになって、高浜小に温かい言葉(「うれしい」「楽しい」「ありがとう」「おはよう」「また明日」等々)があふれている、誰にとっても楽しい学校をみんなで作っていきましょう！進化させていきましょう！と、締めくくってくれました。



谷川俊太郎さん

11月13日に92歳で亡くなられた詩人の谷川俊太郎さん。教科書で読んだ「生きる」が思い出されますが、翻訳の仕事もされており、「スイミー」や「もこもこもこ」等も谷川さんの作品なのだそうです。他にも多数の著書がありますが、『世界人権宣言』の訳もされていました。

『やさしい日本語で読む世界人権宣言』

第1条 「みんな仲間だ」

わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。ひとりひとりかけがえのない人間であり、その値打ちも同じです。だから互いによく考え、助け合わねばなりません。(出典:国際連合広報センター HPより)

人権週間

12月4日～10日が人権週間、10日が人権の日(国連人権デー)です。昭和23年(1948)12月10日、国連総会で世界人権宣言が採択され、「私たちは人間として誰も同じように認め合い、尊敬し合い仲良く暮らします」と宣言しています。

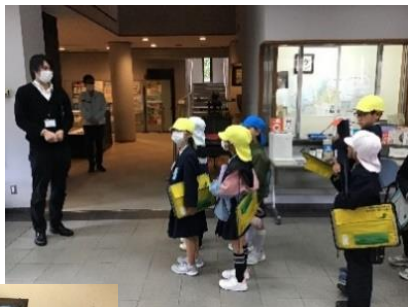
人権週間や人権デーは、人権を大切にする考え方を広める活動を展開することが目的です。本校でも広報委員会がお昼の放送で「人権コラム」を放送し、図書委員会は人権に関する絵本や本の特集を行っています。

また、「一人一人に違いがあることを理解し、お互いに思いやり、助け合って生きていこうとする」ことをねらいとした「障がい理解教育」の授業を実施。12日(木)には、福井県法務局小浜支局の方々にご来校いただき、「人権紙芝居」をしていただく予定でもあります。

明日7日(土)の参観日には、人権作文発表会と、各学級で人権を守る・大切にする授業を実施します。ぜひ、ご参観いただき、お子様と一緒に人権について考えていただけると幸いです。

11月の活動の様子

3年生が総合的な学習の時間に訪問してお世話になった場所



↑ 郷土資料館

← 源六餅

← 漁村文化
伝承館

← 御菓子司
うめざき



高浜公民館
(釈宗演展)



高浜町役場
総合政策課



地域・保護者の皆さま、
11月もいろいろとお世話になり
ありがとうございました。



さつまいも
収穫祭 (2年)

命の学習
(5年)



校内音楽
発表会
(全校)



12月の主な行事予定

- 7日(土) 授業参観日、人権作文発表会
- 9日(月) 振替休業
- 10日(火) 4年校外学習(老健施設訪問)
- 11日(水) 1・4年歯科検診
- 12日(木) 人権紙芝居[3・4年]、委員会
- 13日(金) 3年校外学習(消防署見学)
- 16日(月) 6年門松作り体験
- 17日(火) 児童集会
- 18日(水) 読み聞かせボランティア来校
- 19日(木) 保護者会、集団下校9:40
- 23日(月) 終業式、集団下校11:15
- 24日(火) 冬季休業(~1/7)

